

【道路建設課所管 事後評価審議資料】

○道路改築事業（(主)羽島養老線 羽島養老線バイパス）

- ・事後評価箇所表
- ・説明資料（パワーポイント）

平成 24 年度事後評価箇所表

番号	3	事業名 (路線名等)	道路改築事業 (社会資本整備総合交付金事業) 主要地方道 羽島養老線 羽島養老線バイパス	
実施箇所	養老郡養老町 (船附～高田工区)	全体事業費 (当初事業費)	35億円 (35億円)	
採択年度	平成8年度	完了年度	平成22年度	
事業目的				

主要地方道羽島養老線は、羽島市と養老町を結ぶ総延長約1.3kmの主要な幹線道路である。このうち養老町内の牧田川右岸堤防区間は、幅員が狭い上に大型車両の通行が多いことから大変危険な区間となっていました。

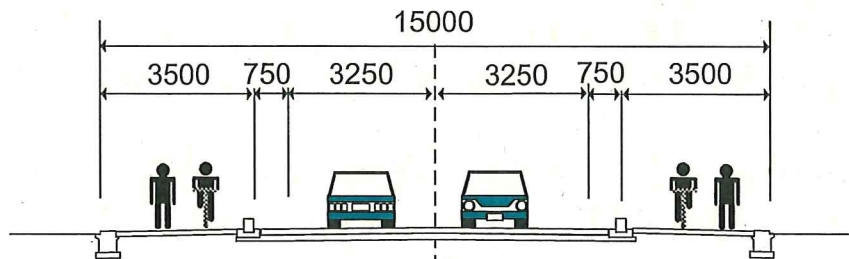
このため、県では平成8年度より現道の約900m南に延長約2.7kmのバイパスの建設に着手し、平成18年度までに、国道258号から西へ約1.9kmの区間を供用。平成22年度に事業を完了いたしました。

これにより国道258号と養老町市街地が2車線道路で接続することから、通行車両の安全確保をはじめ、交通の集中分散や、地域の活性化に貢献することが期待される。

事業概要

事業延長 L = 2,680m
 車道幅員 W = 3.25m (2車線)
 歩道幅員 W = 3.50m (両側)

概要図



評価結果	
①住民参加・協働による効果	
○整備中、工事現場の見学会を開催し、工事への理解を深めてもらい工事を円滑に進めることができた。	
②事業効果	
○地域間のアクセス性が向上	
・ 養老市街地～大垣市南部市街地へのアクセス性が向上	
・ 現況の狭隘区間を解消し、大型車の円滑な交通を確保	
【所要時間の短縮効果】養老町役場～名神高速道路大垣 IC	
羽島養老線（現道）：総延長 8.9km、平均旅行速度 36.8km/h	
羽島養老線（BP）：総延長 8.1km、平均旅行速度 36.8km/h	
所要時間	
現道 14.5 分－BP 13.2 分＝1.3 分の所要時間短縮	
○地域内道路ネットワークの形成	
・ 並行する南北路線（羽島養老線現道、一般県道養老平田線）の交通を分散し、円滑な交通を確保。	
・ 広域農道と一体となり、地域内の道路ネットワークを形成。	
○安全で快適な歩道空間の確保	
・ 羽島養老線（現道）は、歩道が整備されておらず、歩行者は非常に危険。	
・ 羽島養老線バイパスに歩道を整備し、歩行者の安全性を確保。	
○費用対効果分析	
・ 羽島養老線バイパス（船附～高田工区）の B/C は、2.5 と算定。	
・ 1.0 を越える値であることから事業の妥当性が確保されていることを確認。	
③環境面への配慮	
○希少猛禽類への配慮	
・ 羽島養老線バイパス周辺には、希少猛禽類である「オオタカ」の営巣が確認されており、当該路線を整備するにあたり、工事中の対応方針等を検討した。	
低騒音建設機器を利用した工事の実施を行い、整備後には、営巣への影響把握を行うため、アドバイザーより提言を受けながら継続的な調査を実施している。	
④事業を巡る社会情勢の変化	
○養老町周辺における新規商業施設の立地	
・ 国道 258 号が 4 車線整備されるにあたり、沿線に新規商業施設が立地。	
また、国道 258 号に接続する羽島養老線バイパスが整備され、羽島養老線バイパス沿線にも商業施設が立地。	
⑤利用者・地域住民等への効果	
○沿線住民等へのアンケート調査の結果	
・ 沿道住民等へのアンケート結果で、整備に対する満足度を確認したところ、6 割以上の満足が確認できた。	
・ また、当該区間の整備に対して、利用頻度形態別に満足度の集計を行った。	
【満足度の指標による道路整備効果】	
週に 5 日以上当該路線を使用：約 94%が移動時間の短縮に効果があると回答。	

週に3、4日以上当該路線を使用：約88%が移動時間の短縮に効果があると回答。

週に1、2日以上当該路線を使用：約84%が運転のしやすさに効果があると回答。

月に1、2日以上当該路線を使用：約81%が運転のしやすさに効果があると回答。

⑥対応方針

(今後の事業評価の必要性)

○走行時間短縮、隘路や線形不良区間の解消など、事業効果が確認できた。

○沿線住民等へのアンケートでも、6割以上の「満足」を確認できた(「やや満足」を含む)。

(※「不満」は1割未満)

→以上の点から、今後の事業評価は不要。

(改善措置の必要性)

○速度抑制等の安全対策について検討。

(新規事業へ適用すべき留意点)

○本事業は、広域農道と連携することにより、地域内の交通処理の向上に寄与する道路ネットワークを形成。

○周辺の道路事業との連携に留意し、新規事業の推進を目指す。

事後評価
道路改築事業

主要地方道 羽島養老線
羽島養老線バイパス

県土整備部 道路建設課

平成25年1月

位置図①

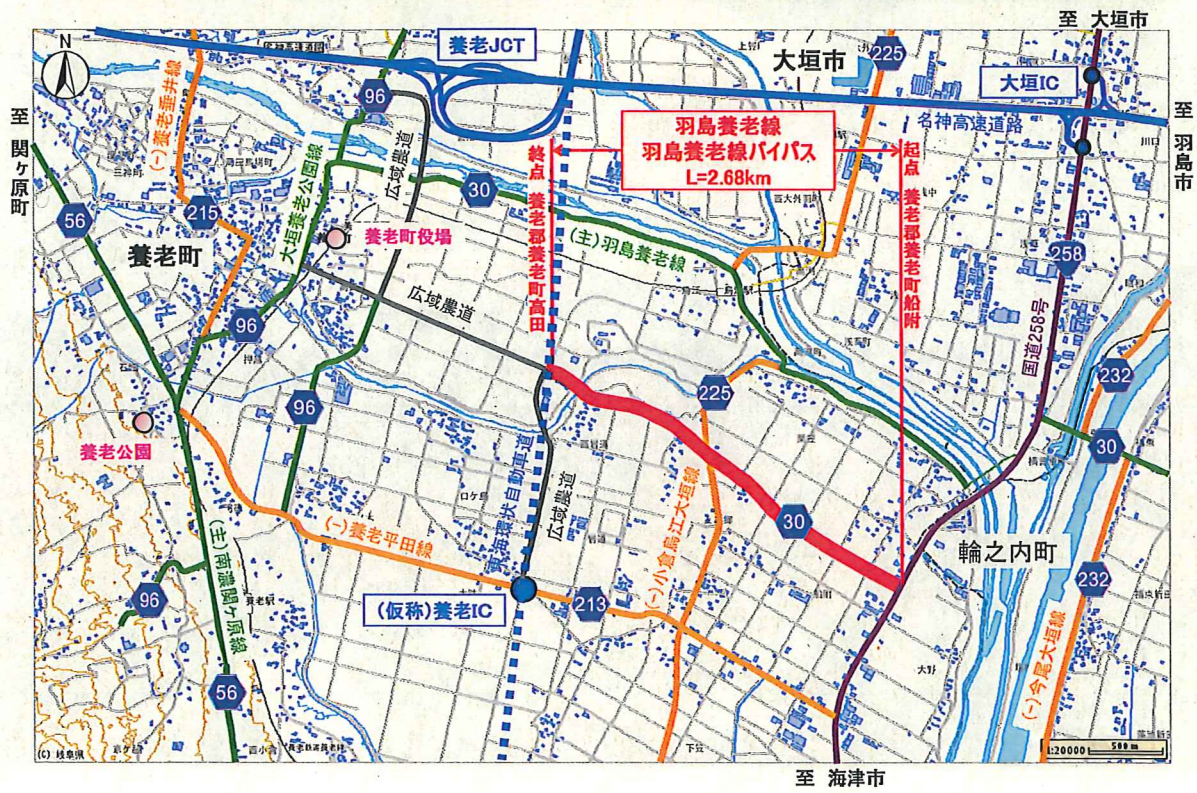
主要地方道 羽島養老線について

路線延長 : 14.1km

改良率 : 85.3%

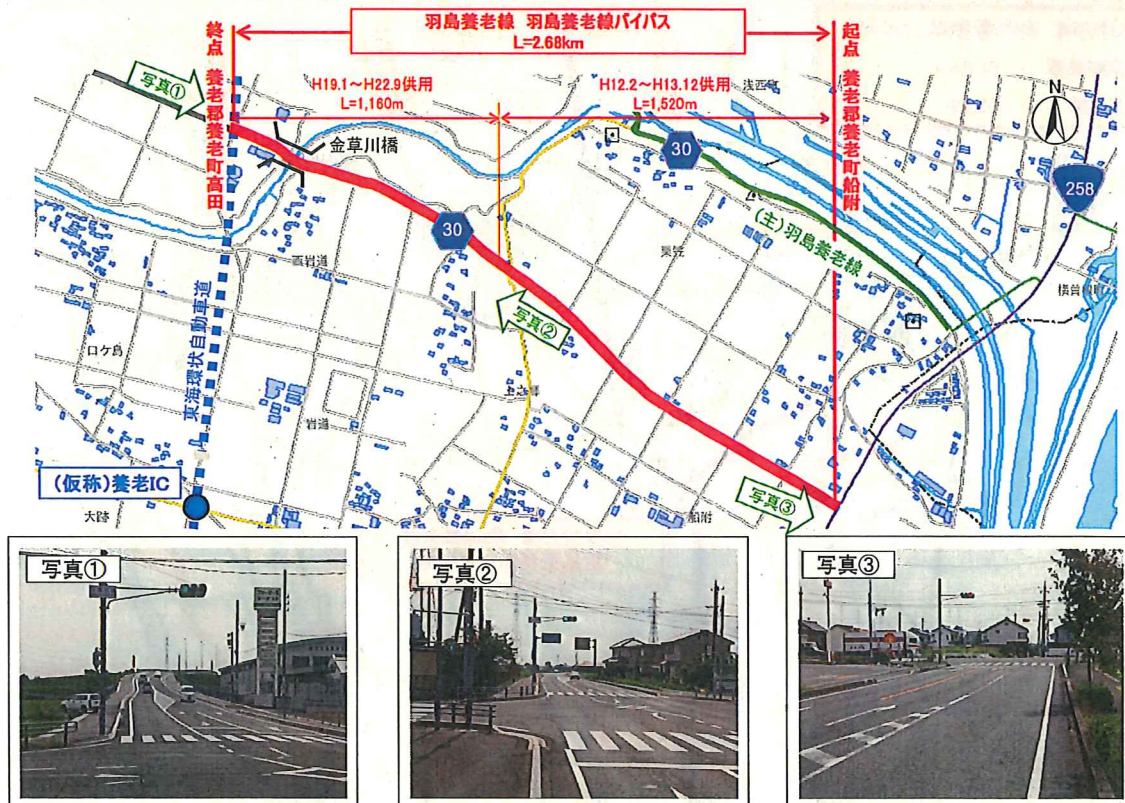


位置図②



3

事業進捗図

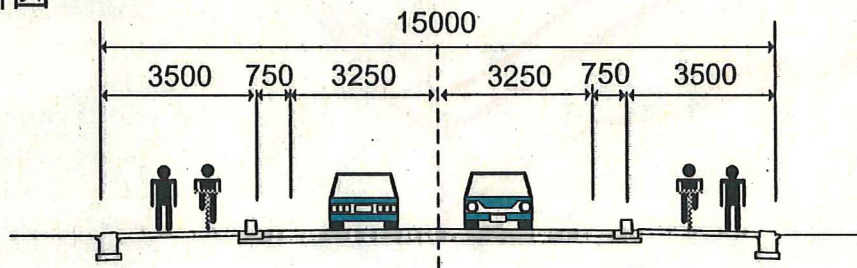


4

事業概要

- ようろうぐん ようろうちょう ふなつけ ようろうぐん ようろうちょう たかだ
 ◆起 終 点：養老郡養老町船附～養老郡養老町高田
 ◆全体延長：2,680m（内橋梁延長：98m）
 ◆総事業費：約35億円
 ◆事業着手：平成 8年度
 ◆完 成：平成22年度
 ◆幅 員：車道 3.25m×2車線
 歩道 3.5m（両側）

標準横断図



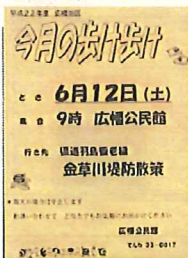
5

住民の参加による効果

◆事業中の住民参加による効果

- 工事現場の見学会を開催し、工事への理解を深めてもらうことでその後の工事も円滑に行い完成させることができた。

羽島養老線バイパス見学会（平成22年6月）



金草川橋の見学風景

6

事業の効果 ①

活力：養老市街地～大垣市南部市街地のアクセス性が向上

- 養老市街地～大垣市南部市街地へのアクセス性が向上
- 現道の隘路区間を解消し、大型車の円滑な交通を確保



7

事業の効果 ②

活力：地域内道路ネットワークの形成

- 並行する南北路線（羽島養老線現道、一般県道養老平田線）の交通を分散し、円滑な交通を確保
- 広域農道と一体となり、地域内の道路ネットワークを形成

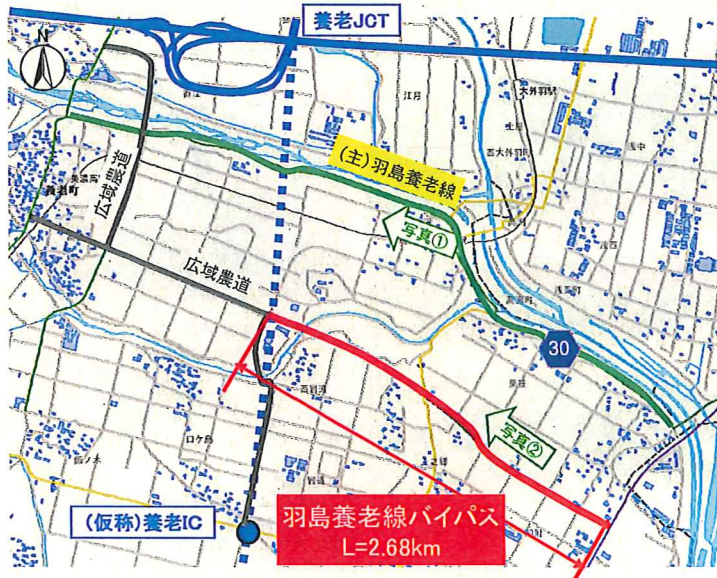


8

事業の効果③

安全・安心:安全で快適な歩道空間の確保

- 羽島養老線現道は、歩道が整備されておらず、歩行者は路肩部分を通行
- 歩道の整備により、歩行者の安全性を確保



写真①(現道区間)



路肩部分を通行

写真②(整備後)



9

費用対効果分析

事業の効果

- 走行時間短縮便益 効果全体の約93%
- 走行経費減少便益 効果全体の約6%
- 交通事故減少便益 効果全体の約1%

投資的効果率

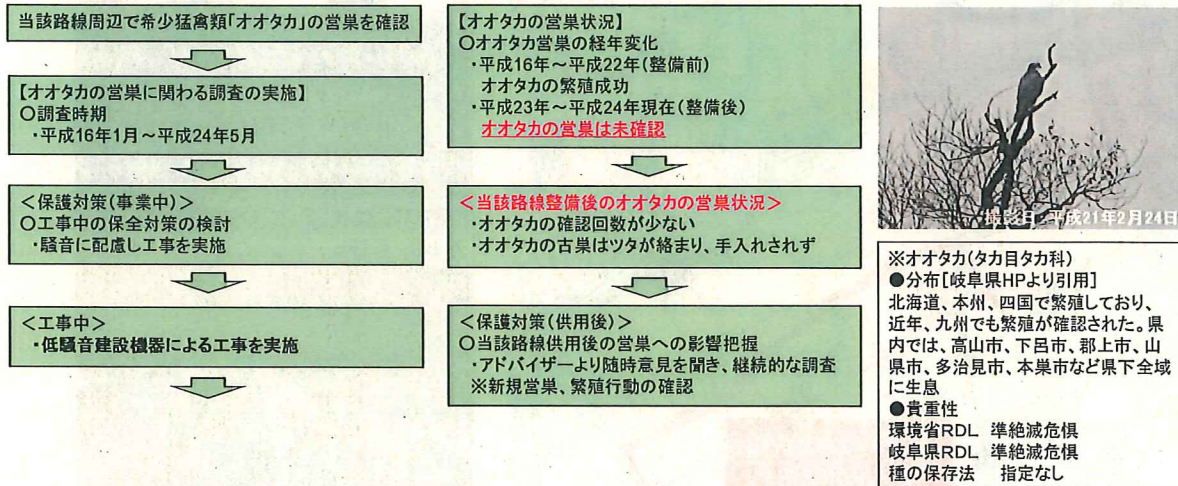
$$\frac{\text{総便益 (B)}}{\text{総費用 (C)}} = 2.5 \text{ (全体)}$$

※費用便益分析マニュアル(国土交通省H20.11)に基づき算出

環境面への配慮

◆希少猛禽類に配慮した調査、工事の実施

- 当該路線周辺に生息する希少猛禽類「オオタカ」に配慮し、モニタリング調査、工事中の対応方針を検討
- 今後は、アドバイザーより意見を聞きながら継続的な調査を行い、営業への影響を把握



11

事業を巡る社会経済情勢の変化

◆養老町周辺における新規商業施設の立地

- 国道258号が拡幅整備され、4車線で供用済
- 国道258号、羽島養老線バイパス沿線に、新規商業施設が立地



12

地域住民等への効果

◆アンケート調査地区の設定

- 当該路線は、養老町高田地区の住民が頻繁に利用している（養老町役場への聞き取り）
- 国道258号と接続し、大垣市南部地域へのアクセスを支援
- アンケート調査地区は、当該路線の西側に位置する養老町高田地区を設定



アンケート調査票数

養老町高田地区	合計
配布枚数	1,705票
回収票数	456票
回収率	26.7%

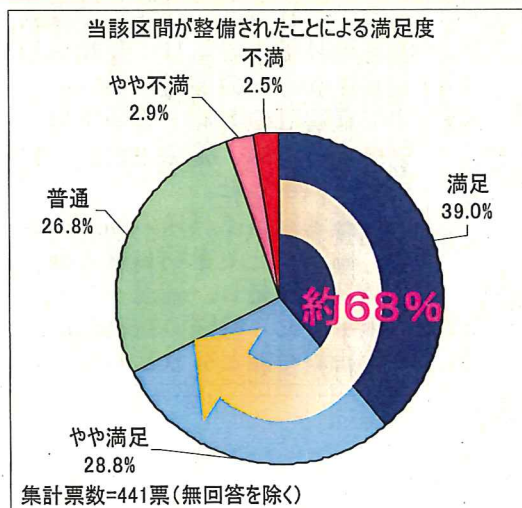
13

地域住民等への効果 ①

◆アンケート調査結果（事業に対する満足度）

- 当該区間の整備により、約68%の利用者が満足と回答
- 国道258号、海津・桑名方面へのアクセス性が向上したとの自由意見

養老町高田地区住民アンケート調査結果



【自由回答での意見】

- ✓ 見通しが良くなった
- ✓ 移動時間が短縮した
- ✓ 国道258号へアクセスしやすくなった
- ✓ 海津、桑名方面への移動が便利になった
- ✓ もっと早く開通して欲しかった

14

地域住民等への効果 ②

◆アンケート調査結果（利用頻度別）

- 一週間に3日以上の頻度で頻繁に当該路線を利用する人は、「移動時間の短縮」に効果があると回答
- 一週間に1・2日、あるいはそれ以下の頻度で当該路線を利用する人は、「運転のしやすさ」に効果があると回答

養老町高田地区住民アンケート調査結果

◆満足度の指標による道路整備効果

利用頻度	整備効果							
	渋滞の回避	移動時間の短縮	医療施設までのアクセス時間短縮	歩行者と車の分離	車と車の分離	混雑、狭小区間の回避	夜間照明	運転のしやすさ
1週間に5日以上	80.4	93.9	38.0	68.7	65.3	87.7	58.0	74.0
1週間に3,4日	69.0	87.5	42.8	72.4	63.8	77.6	54.6	82.1
1週間に1,2日	63.6	83.7	42.9	69.4	62.8	80.3	66.7	84.0
月に1,2日	45.9	69.8	33.3	64.2	69.4	74.0	57.5	80.8

単位：％（満足・やや満足が占める割合の合計値）

※無回答票は除く

15

道路利用者等への効果

◆ヒアリング調査結果

- 当該路線供用により、搬送・輸送経路が変化
- 搬送時間の短縮に貢献

事業所へのヒアリング（平成24年11月13日）



◆道路利用者からの声
輸送ルートを羽島養老線バイパスに変更！

例えばA社では、「住宅の集材を取り扱っており、愛知県や滋賀県などへの搬送の際、これまで最寄りの名神・大垣ICへ連絡するため、養老平田線を利用していました。羽島養老線バイパスの開通により、搬送ルートを変更し、高速インターへのアクセス時間の短縮や快適な走行が可能となりました。」

16

対応方針

◆今後の事後評価の必要性の有無

- 走行時間短縮、隘路区間の解消など、**事業効果を確認**
- 沿線住民等へのアンケートでも、**6割以上の「満足」**を確認
- このため、今後の事業評価の必要はなし

◆改善措置の必要性

- 速度抑制等の安全対策について検討

◆新規事業への適用すべき留意点

- 本事業は広域農道と連携することにより、地域内の交通処理の向上に寄与する道路ネットワークを形成
- 周辺の道路事業との連携に留意し、新規事業の推進を目指す